

発行



社会福祉法人 黒潮園

〒647-0061

和歌山県新宮市三輪崎2471-1

Tel 0735-22-5689 Fax 0735-21-3220

ホームページ http://www.kuroshioen.jp

黒潮園だより



“大阪のバスガール”だった小西様。
経済の中心都市、大阪市民の足を
支えていました。



百歳のお祝い

敬老の日、今年百歳を迎えられた小西ヤスノ様に安倍晋三内閣総理大臣、
仁坂吉伸和歌山県知事よりお祝いが贈られました。

福田道雄東牟婁振興局長より総理大臣からのお祝い状が手渡されると
小西様は満面の笑みを浮かべられていました。
小西様、いつまでもお元気でいてください！！

新施設と私たちが目指すもの



社会福祉法人 黒潮園
理事長 岡 司

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、6月に着工した、全室個室の特養「クレール高森」ですが、雨の少ない天気が幸いし、工事は順調に進んでいます。
新しい施設名称の由来ですが、「クレール(Crêler)」とはフランス語で「明るい」「澄みわたる」という意味になります。クレール高森は、この海を眺めるこの高森の地に、水平線から昇った太陽が燦々と差し、周囲の木々の緑が映える、まさに明るく澄みわたった様子をイメージし設計に望んで参りました。
また設計内容は、これまでの病院をモデルにした施設設計の概念にとられず、この豊かな自然を活かすとともに、モダンでいて生活の場(住まい)としてどこか居心地の良さを感じる空間づくりをコンセプトにしています。
「クレール高森」は入所される方が、楽しみや期待感をもって生活の場を移していただけるような、これまでの施設のイメージとは一線を画する、新しい施設の形を追求しています。
これらの考えから、施設名もこれまでの施設名称に多く見られるものではなく、マンション名のようなお洒落なフランス語の「クレール」という言葉が、この施設のイメージに最も適するものと思います。
この3年間の中期事業計画では、このクレール高森の建設に続き、老朽化した既存施設「黒潮園」の耐震補強、改修を行います。これまではケア内容や職場環境の改善といったソフト面の課題に対する改革に取り組んできました。これからは、ハード面の整備といった大きな投資を要する計画の実行が求められます。
この永い黒潮園の歴史を継承するとともに、これからの時代に合った、そしてこれから先、未来の高齢者福祉のあり方を追求していくことが、私たちの責務と考えます。
この計画を成し遂げることが出来るよう、私たち職員は一丸となって取り組んで参ります。今後ともどうぞご遠慮なくご意見・ご要望をお聞かせください。宜しくお願ひ申し上げます。

ボランティア活動

花の日 マリア保育園の子供たち

6月の第2日曜日はキリスト教の祭日、花の日です。

およそ150年程前、アメリカのある牧師が子供たちの宗教教育のために特別な礼拝を行なったことが始まりとされ、子供が神様に感謝の気持ちを表すのにふさわしいものとして花を飾ったことから「花の日」と呼ばれるようになったそうです。

この日は子供たちが花束を作り、日頃お世話になっている人や施設などに届けます。黒潮園にも一足早く、マリア保育園の園児たちが花束を携え訪問して下さいました。

入所者の皆様は本当に子供が大好き！。ふれあいの一時、子供たちの手を取った入所者様は満面の笑みを浮かべられる方、またある方は感極まって涙を流されるなど、私どもが普段見たことが無いような豊かな表情を見せて下さいました。

黒潮園は多くの方々の愛情によって支えられています。その一部をご紹介します。



マジックサークル青い鳥の皆さんにご来園頂き、マジックショーを披露して頂きました。3名のメンバーによって次々に披露されるロープ、ハンカチ、カード、グラスなどを使ったマジックに入所者様は「おーっ！」と声をあげられたり、さかんに手拍子をされていました。最後の演目はテーブルが宙に浮く大技。皆様はびっくり仰天されていました。



マジックショー



子供たちのダンス



いちご倶楽部の子供たちが来園し、ダンスを披露してくれました。例年ですと納涼大会で踊って頂くのですが、残念ながら今年は新規事業所建設工事の関係で納涼大会は中止となってしまいました。何とか子供たちのダンスだけでも見たい！ということでデイルームで踊って頂きました。「いつもより近くで見られて良かったよ！」と喜ばれていました。



フロア制を導入している黒潮園では法人の常任理事でもある音楽療法士・福田朝子先生のご指導の下、音楽療法を各フロアごとに実施しています。福田先生の行っていた各フロアごとの『今月の歌』という取り組み、それに2階フロア平根介護主任のアイデアをプラスして『フロア対抗歌合戦』という企画が生まれました。

みんなで力を合わせて フロア対抗歌合戦



この日のために、各フロアの入所者様は全員で一丸となって優勝を目指して練習を重ねてきました。また歌以外にもお揃いのコスチュームを揃えたり、小道具を用意したりと工夫を凝らしての挑戦です。いよいよ本番、各フロアとも練習の成果を思う存分に発揮されました。職員と入所者様が一丸となって、みんなで力を合わせての熱唱に、音楽療法士の福田先生も大変驚き感動されていました。

各フロアの入所者様は「歌合戦」で競うということで、真剣な眼差しで歌われる姿がとても印象的でした。私たちが想像する以上の真剣な取り組みと盛り上がり、審査は賛否あり。そして厳正なる審査の結果、優勝は？
2階フロアの皆さん！ 2位は同点で1階、3階フロアの皆さんでした。歌唱力での優劣はつかず、創意工夫で楽器隊が活躍した2階フロアが総点で僅差の優勝という結果になりました。歌合戦という企画上、順立を付けざるを得ませんでした。日頃の生活での笑顔とはまた違った、歌い終えた入所者様お一人おひとりの充実感あふれる笑顔を拝見させていただき、この企画で入所者様の素晴らしい活力が引き出されたものと思います。早速、年間行事として、第2回の開催を企画しようとの声が出ています。



指揮をする職員も力が入ります



キーボードを弾く？入所者様

速玉さんへ願掛け参拝 七夕祭り

7月7日は七夕の日、年に一度、織姫と彦星が会える日です。入所者様がそれぞれ思い思いの願い事を書いて笹飾りに飾り付けました。その笹飾りを携え、熊野川まで流しに出かけました。

途中では熊野三山一つ、速玉大社へ立ち寄り、お参り（願掛け）しました。また、御神木、柳（なぎ）の大樹（天然記念物）の前で記念撮影をしました。霊験あらたかな速玉さんへのお参りで、皆さんの願いもきっと叶うことでしょう！？



御神木の柳（なぎ）の大樹の下で・・・



速玉さんの参詣道に行く久保総括とS様



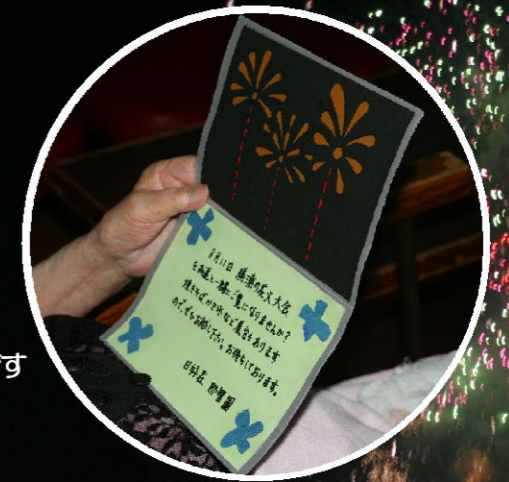
真剣にお参りする皆様



熊野川の河原にて

平成25年8月11日 那智勝浦町花火大会 日好荘那智園さんにおじゃましました

8月11日は隣町、那智勝浦町の花火大会です。今年も昨年に引き続き、日好荘那智園さん（社会福祉法人紀友会）にお招き頂き、花火を見物させて頂きました。実は入所者様に花火を見物して頂きたく、数年前から花火大会見物の検討を行っていたのですが、夜間に大勢の見物客でごった返す会場での車の乗り降り等を考えると安全面でクリアすべき課題が多く、これまでなかなか実現できずにいました。日好荘那智園さんは花火大会会場である那智湾を一望できる高台に位置しています。施設内に居ながらにして安全に花火が見物できるわけです。参加された入所者様はまさに目の前に広がる大輪の花火に大喜び。また、半被姿の日好荘職員さんによるカキ氷や焼きそばなどの屋台も出ており、花火だけでなく夏祭り気分をたっぷりと堪能されました。日好荘那智園の皆様、ありがとうございました。ぜひ来年も宜しくお願い致します。



出発前の入所者様。読んでいるのは日好荘さんから頂いた手作りの招待状です



おすまし顔で記念撮影中の2人…



突然、特大花火が炸裂！！



目の前で広がる花火、迫力があります



会場入り口の看板。温かいおもてなしを受けました



屋上でて見物。心地よい潮風が吹いていました



ソフト食導入の取り組み 管理栄養士 長尾善子

黒潮園とデイサービスセンター悠久の食事提供は直営厨房で行っており、毎日約350食の食事を提供しています。そこで毎月1日は『ご馳走の日』とし、季節の料理など創意工夫しています。

これまでは咀嚼・嚥下機能の低下した高齢者の食事は、細かく刻んだり、ミキサーにかけたものが主流でした。しかし、近年、食材の形や風味を活かしながら、舌で押しつぶせる柔らかさで、ゼリーのような喉ごしで仕上げる『ソフト食』という食事形態が注目されています。介護食を扱う各メーカーからも様々な商品が発売されています。

そこで黒潮園の調理部では、この『ソフト食』を自分たちで作ることに挑戦することになりました。「失敗は成功のもと！」を合言葉に、今年1月から試作づくりを開始しました。試行錯誤しながら調理手順についての話し合いを重ね、本年4月よりソフト食の提供を開始しました。

ソフト食の一例

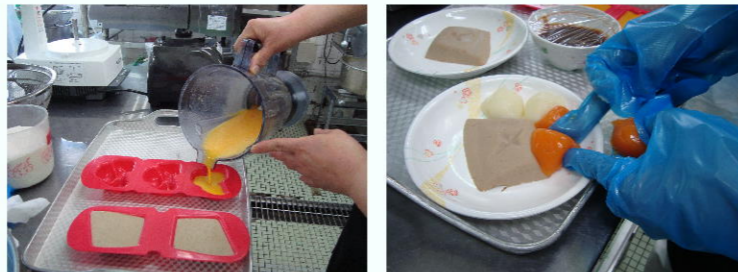


カレーライス



ロールケーキ

ソフト食作成の様子



型に流し込んで固めます

型から取り出して盛り付けます

当施設のソフト食の製作手順は、通常の献立を一度ペースト状にしたあと、テクスチャー改良剤というもの（商品名：スルーパートナー）を添加して再加熱します。これを型に流して冷却すると、食材が固まります。この作業を食材一つづつ行い、最後にそれぞれを型から外し、お皿に盛り付けて提供しています。

大変手間のかかる作業ではありますが、「おいしそう、食べてみたい」と思っただけのように…との思いで、固形化するための型や、切り方、食材の工夫をこらし日進月歩で取り組んでいます。

このように嚥下食であっても普通食と変わらない見栄えで提供することで、食事のむせの減少だけでなく、食事が増えたなどの声も聞かれています。またデイサービスやショートステイのご利用者様やご家族様からも好評のお声を頂いています。



開園記念日(7月)の御膳 ソフト食のご馳走もご用意しました



私たちの目指す自立支援のケアでは、嚥下機能低下しても、最後までできる限り口から食事をとって頂けるよう取り組んでいます。手間と時間がかかるソフト食作りですが、「美味しく・楽しく・安全な」食事提供に向け、調理部職員もチームケアの一員として頑張っています。

従来からの取り組み『ごちそうの日』も好評を頂いております。入所者様の笑顔を見ることが楽しみです。



ごちそうの日 新メニューのオムライスも大好評でした



施設内勉強会

排泄ケア勉強会

～使う人の身になって～ 株式会社 光洋

おむつメーカーの株式会社 光洋さんをお招きして、排泄ケアの知識や正しいおむつのあて方などを習得する目的で講習会を開催しました。

今回は講義の前に実際に排泄交換の現場に同行願い、拘縮のある方のあて方や漏れを防ぐポイントなどの指導を受け色々参考になりました。その後、資料やサンプルを使っての講義が始まり、男性・女性の排尿の構造・機能の違いや、排泄パットの使用上の注意点、漏れ・ずれを防ぐためのポイント等の専門的知識を学びました。

最後にデモンストレーションでは、職員同士が互いに実技をしたり、モデルになったりして体験しましたが、当てられる側になることでより正確なあて方をマスターすることができました。

よりよい排泄ケアを提供するには、専門的知識は必要不可欠であり、今回新しく学んだ方法や技術を現場で生かし、ご利用者様の不快感の軽減や身体の負担の軽減に繋げていきたいと思っております。



株式会社 光洋さんによる排泄ケア講座



実技指導の様子

新人職員をご紹介します

調理員 生熊 有美

はじめまして、生熊有美（いくまゆみ）です。5月から調理場に勤めさせて頂いております。調理の仕事は初めてです。ただ今特訓中で、皆さんには大変ご迷惑をおかけしています。頑張りますので宜しくお願いします。

介護職員（デイ） 加藤 明美

この度デイサービスセンター悠久でお世話になる加藤です。今まで事務の仕事しかした事がなく、去年ワーキングホリデーの介護職員基礎研修課程を受講し、今年1月末で修了、4月から働く事になりました。質の高いサービスをめざし頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

介護職員（デイ） 井筒 尚美

悠久に入ってもうすぐ3ヶ月になります。今まで介護経験が全くなく、知識も技術も何もないまま、これからこのお仕事をやっていけるのか不安で迷いましたが、一日一日と利用者様と接している内に介護のお仕事の大変さと同じく奥深さを感じられてきました。これからは、知識と技術も身に付けて頑張っていきたいと思っております。

洗濯・清掃 宋 月明

今年4月から入職致しました。清掃の仕事は初めての経験で、仕事のすべてが学びです。失敗することや、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、助けて頂きながら働いていきます。これからも頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

介護職員 木和田 真

4月より入職致しました、木和田真です。各介護施設等の見学会にも参加したりと福祉の仕事には以前から興味があり、「直接、人の役に立つ仕事がしたい」という思いで入職いたしました。社会福祉従事者として自覚と誇り、礼儀をもって接し、質の高い福祉サービスを提供して、利用者様の笑顔を引き出すことを大切に日々自己研鑽していきます。

介護職員 西 友紀

こんにちは。今年4月から黒潮園でお世話になっています。今まで様々な介護の職場で沢山の人の出会い、多くの事を学ばせてもらっています。この黒潮園でも色々吸収して、元気いっぱい頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。

介護職員 鳥居 大輔

今年の4月より黒潮園に入職しました鳥居です。大阪の専門学校を卒業し、地元である新宮市に戻ってきました。学んできたことや、日々先輩方からご指導頂いていることを利用者様へのサービスに反映することが出来るように努めていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

介護職員 宮上 慶一

今年の2月1日より黒潮園に入職しました宮上と申します。福祉大学を卒業後、ずっと介護に携わる仕事をしてきました。この仕事は奥が深く、絶えず勉強させて頂きながら日々の仕事をさせて頂いています。これからは自分の人間性や福祉職としての専門性を向上させながら地域福祉に貢献していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

介護職員 瀧本 一二三

4月より黒潮園で努めさせて頂いて2ヶ月が、あっという間に過ぎていきました。食事のお手伝いや、トイレ、移動のお手伝いと日々の生活の支援を通じて、ご利用者様に喜んで頂ける様、笑顔で頑張っています。来年には新しい施設も完成します。ユニットケアという新しいケアについても学び、頑張りたいと思っております。

